

真空管ヘッドフォンアンプ  
**TRV-84HD Mark II**  
取扱説明書

平成31年3月1日 第1.2版



この度はトライオード製品をお求め頂きまして誠にありがとうございます。  
ございます。本機の機能を十分にお楽しみ頂く為にも、  
ご使用前に本書を良くお読み頂き、正しくご使用下さい。

本機は一般家庭用オーディオ機器として作られたものです。  
一般家庭用以外（たとえば飲食店等でのBGMなど営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載  
使用、野外での使用など）に使用しないでください。  
一般家庭用以外の使用で故障した場合は、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

# TRIODE

株式会社 トライオード

〒343-0032 埼玉県越谷市袋山609-3  
Tel : 048-940-3852 Fax : 048-940-3853  
URL : <http://www.triode.co.jp/> e-mail : [service@triode.co.jp](mailto:service@triode.co.jp)

## 警告

・以下の内容を無視して誤った取扱をすると火災や感電による人身事故の原因となります。

絶対に裏蓋を開けたりしないで下さい。故障や感電の原因となります。特に本機は内部に高電圧を使用するため、内部接触による人体の損傷や火傷などの責任は負いかねます。

万が一、以下の様な異常が生じた場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。そのまま使用すると火災や感電の原因となりますので直ちに弊社へ修理をご依頼下さい。

- ・煙が出たり異臭がする
- ・本機の内部に水(その他の液体)や異物が入った
- ・落したり、本体を破損した

本機を交流(AC)100V以外の電源で使用しないで下さい。それ以外の電源電圧や船舶等の直流(DC)電源には直接接続しないで下さい。故障や火災、感電の原因となります。

電源コードを傷つけないで下さい。(重い物の下敷きになる/無理にねじ曲げたり引っ張ったりする/加工する/加熱する)電源コードが破損(芯線が露出、断線)すると火災や感電の原因となります。また、電源プラグにホコリがたまらない様にして下さい。プラグとコンセントの間にホコリがたまると火災や感電の原因となります。定期的にプラグをコンセントから抜いてホコリを取り除いて下さい。

以下の内容をお守り下さい。内容に反したご使用をされると火災や感電、火傷の原因となります。

- ・本機の上や周囲に花瓶や水などが入った容器を置かない
- ・本機を改造しない・本機の通風口をふさがない

## 注意

・以下の内容を無視して誤った取扱をすると感電やその他の事故により怪我や物的損害の原因となります。

必ず付属の真空管カバーをご使用下さい。使用時は真空管が高温になるため直接接触すると火傷の原因となります。特にお子様の手の届かない様にして下さい。

ふらついたり傾いた所などの不安定な場所や、湿気やホコリの多い場所、調理器具や加湿器等の油煙や湯気が当たる場所へに設置しないで下さい。落下による怪我や発煙、発火の原因になります。

電源コードは以下の様な取扱いはしないで下さい。破損による感電や発火の原因になります。

- ・プラグを抜く時にコードを引っ張る
- ・ぬれた手でプラグを抜き差しする
- ・熱器具のそばに近づけて設置する

ヒューズは必ず規定の物をお使い下さい。規定を越える値(アンペア数)を使用すると火災や事故の原因となります。

長期間ご使用にならない時は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて下さい。また移動やお手入れの時は、電源を切り真空管が冷えてから電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。

電源を入れる時は音量を最小にして下さい。突然大きな音が出て聴力障害の原因になる事があります。また、ご使用時は適切は音量でご鑑賞下さい。長時間大音量でお聴きになると聴力障害の原因となります。

付属の電源コードは本機専用です。他の機器では使用出来ません。

## 保証について

本機は取扱説明書に記載された注意事項等に添った正しい使用状態で保証期間内に故障が生じた場合は、弊社にて無償で修理致します。但し、以下の様な場合、保証の対象外となりますのでご注意下さい。この場合の修理は全て実費とさせていただきます。

- 1) お客様による本製品のパーツ交換を含む改造を行った場合
- 2) 本製品純正品以外の真空管を使用した事によりアンプ本体や他の真空管に故障や損傷が生じた場合、または接続された器機により不具合が生じた場合
- 3) 取扱説明書に記載されていない操作方法やご使用上の誤りによる故障や損傷
- 4) 輸送、移動、落下等による故障や損傷
- 5) 落雷、地震、風水塩害、その他の天変地異や、公害、火災、異常電圧による故障や損傷
- 6) お客様の希望による真空管の交換や調整、その他メンテナンスの時
- 7) 業務用など一般家庭用以外での使用による故障および損傷

※本機のご使用によって生じた商業上及び資産上その他いかなる損害に対しての賠償責任は負いかねますのでご了承下さい。

# 各操作部及び接続端子



## 接続方法

- 1) 電源コードの接続  
電源スイッチがOFFの状態ですべての電源コードをインレットとコンセントに差し込みます。
- 2) 入力端子の接続  
CDプレーヤー等のラインレベルのソースと本機の入力端子をピンコードで接続します。入力は2系統有り、上段が左チャンネル、下段が右チャンネルになります。
- 3) ヘッドフォンの接続  
ヘッドフォンを前面のフロントパネルのヘッドフォンジャックに接続します。ヘッドフォンジャックはφ6.3mmの標準ジャックになります。ステレオミニジャックをご使用の際は別途変換プラグをご用意下さい。
- 4) スピーカーの接続  
スピーカーケーブルをスピーカー端子のプラスとマイナスに接続します。上段が左チャンネル、下段が右チャンネルになります。本機ではYラグ端子(開口部8mm推奨)、裸線及びバナナプラグに対応しています。端子の間隔が狭いので特にサイズの大きいYラグ端子や裸線をご使用の際はとなりの端子とショートしない様にご注意下さい。

※接続に使用するピンコードやスピーカーケーブルは別途ご用意下さい。

## 使用方法

- 1) 入力セレクトターで聴きたいソース(LINE1、LINE2)を選びます。  
※フォノアンプを内蔵していないレコードプレーヤーを使用の際は別途フォノイコライザーをご用意下さい。
- 2) スピーカーで聴く場合は、出力切り替えスイッチをONにします。  
※スピーカー出力している時でもヘッドフォンはご使用になれます。その際、出力切り替えスイッチのON、OFFでヘッドフォンの音量が若干変化します。また、ご使用になるヘッドフォンのインピーダンスの違いにより若干音量が増減しますが、インピーダンスの変化による物で故障ではありません。  
※出力切り替えスイッチは電源がONの状態でも操作可能ですが、操作時は必ずボリュームを十分に下げてください。突然の大音量でスピーカーを傷める恐れがあります。
- 3) ボリュームを絞った状態で電源スイッチをONにします。  
※電源スイッチは押し込んだ状態がONです。ON時は上部のインジケータが点灯します。
- 4) お好みの音量になる様にボリュームを調整します。

# 真空管カバーの取扱い

真空管カバーはまっすぐ上方へ引き抜く様にする则取り外せませす。

取付の際には4本の足を取付穴に合わせ、まっすぐに押し込みませす。

- ※真空管(特に6BQ5)は高温になります。清掃等で取り外す以外は、カバーを取り付けた状態でご使用下さい。
- ※真空管の発光部分は各電極を暖めるためのヒーターです。真空管により、光り方にばらつきが生じる事がございませすが、出力が正常であれば異常はございませせん。



# ヒューズ交換について

ACインレットより電源コードを抜き、ヒューズホルダー上面にある溝にマイナスインドライバ等を引きかけて引き出ませす。ヒューズは125Vまたは250V タイムラグ型 T1.6Aを使用し下さい。

- ※交換したヒューズが再び切れてしませう場合、本体に異常がある可能性がございませす。その時は直ちに使用をやめ、コンセントから電源プラグを抜いて修理をご依頼下さい。



# TRV-84HDmark II 仕様

- 回路形式：自己バイアス方式 真空管A級シングルステレオヘッドフォンアンプ
- 使用真空管：6BQ5(EL84) 5極管×2本 12AU7(ECC82) 双3極管×2本
- 定格出力：3w×2(スピーカー出力)
- 周波数特性：10Hz~50kHz ±1dB ■SN比：90dB以上 ■歪率：0.1%以下
- 出力端子：スピーカー出力 4~8Ω ステレオ標準ジャック×1
- 消費電力：30W
- 外形寸法：幅160×奥行350×高さ140mm ■重量：8kg
- 付属品：真空管カバー、取扱説明書(本書)、電源コード

# オプションパーツ

トライオード純正真空管 (中国製)  
12AU7 1本 2,800円 (税別)  
6BQ5(EL84) 1本 4,800円 (税別)

※価格は2019年3月現在

※真空管の交換について

本機では出力管回路に自己バイアス方式を用いており、真空管の交換時にはバイアス調整を行う必要がございませせん。また、初段管につきませしても同様に調整の必要はございませせんので、上記純正真空管のほかに様々な真空管を取り替えて音の違いを味わって頂く事が出来ませす。

**尚、交換時は電源をOFFにしてから真空管の温度が常温に下がるまで絶対に手を触れないで下さい。動作時は高温になっており、火傷の恐れがございませす。**

製品内容や修理についてのお問合せ

TEL : 048-940-3852 FAX : 048-940-3853

e:mail : service@triode.co.jp

※お電話の場合は祝日を除く月曜日から金曜日の10時から16時の間で対応させさせて頂きます。